

「2010年1月から2013年10月までに川崎医科大学附属病院消化器外科で急性胆嚢炎と診断され手術を受けられた患者さんへのお知らせ」

研究課題名「急性無石性胆嚢炎の手術時期の検討」に関する研究について

2010年1月から2013年10月までに、川崎医科大学附属病院消化器外科で急性胆嚢炎と診断され手術を受けられた患者さんについて、手術術式毎に手術経過と手術後の経過を検討することを倫理委員会により承認を得ました。

本研究の目的は、急性有石性胆嚢炎と急性無石性胆嚢炎の術式別の手術所見と術後の経過を比較検討することで今後の臨床現場に役立てることです。この研究結果は、学会演題や学術論文として発表する予定です。本研究は術後経過を再評価し、カルテからのデータのみを収集する観察研究であり、患者さんの個人情報をも抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断のひずみが起こりかねない状態を利益相反といいます。本研究におけるすべての研究者において、研究費は学内研究費を用いるため利益相反の状態にはなりません。参加を希望されない方や疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先に御相談下さい。

本研究のお問い合わせ先

担当者：消化器外科学 上野 太輔

e-mail: shouge@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL: 086-462-1111 (内線 26503) FAX: 086-462-1199